



長岡版

発行編集
長岡民主商工会
長岡市中沢167-1
☎ 33-5948

2018年
5月28日
第1908号

野党統一候補が国政選挙や知事選を制した新潟県は、野党間で注目の的。この知事選でも幹部が池田さんの応援に駆けつける予定です。市民と野党の共闘で、四度目の「新潟ショック」を巻き起こしましょう。

6/10(日)県知事選、争点は原発再稼働 市民と野党の共闘で池田ちかこ候補の勝利を

新商連（県連）は、この度の新潟県知事選（6月10日投開票）に野党統一候補として立候補を表明した池田ちかこさんの支援を決めました。原発再稼働を争点とした与野党対決、勝利に向けて力を合わせましょう。

5月16日夜、池田候補を支援する団体が集まった「長岡地区連絡会議」が開かれました。あいさつに立った池田候補は、市民と野党の共闘の印である「県民党」の旗の下、次の2つを強調しました。

①新潟県は市民と野党がしっかりと手を組んで、選挙においては必ず結果を出してきた。市民と野党の共闘をなくしてはいけない。

②原発について「3つの検証」を継承し、可能な限り早急に原発ゼロを目指す。検証結果を県民と共有・議論し、自身の判断の是非を問うべく県民投票を実施したい。原発ゼロに向けた計画案の作成と、原発が生み出した雇用や経済に替わるものを構想するための検討委員会を創設する。

世論調査では半数以上が原発再稼働に反対しています。池田候補の政策は国民の意思と合致します。多忙の中、激励に駆けつけた森裕子参院議員も「池田さんの『原発ゼロ』は、スローガン（標語）でなく具体的な政策だ」と繰り返し強調しました。

長岡民商からは権澤政晴会長らが参加。権澤会長は、各団体代表者のあいさつで「今、うそのない政治が求められています。安倍政権を倒しましょう」と発言しました。

今回の知事選は新潟県の首長を決めるだけでなく、国政に大きな影響を与える選挙となります。「市民と野党の共闘」の代表である池田候補の勝利に向かってがんばりましょう。



雇用保険手続き マイナンバー不記載でも受理

5月8日(火)、「マイナンバー不記載の場合には差し戻す」とされた5月1日以降、初めてハローワーク長岡にて雇用保険取得・喪失の手続きを行いました。もちろん、マイナンバーは記載していません。

書類を提出すると、窓口の職員は「5月からマイナンバーなしでは受け取れない」。これに対し、「新商連と新潟労働局との話し合いにおいて、事務組合がマイナンバー取り扱いに対する事務処理規定の変更をしない場合はマイナンバーの記載を求めないこととされ、県内ハローワークに徹底するとの回答を得た」と反論。この通達について聞いていないかと確認したところ、窓口の職員は「聞いていない」との返答でした。職員が上司に確認に行き、最終的に受理となりました。

事務所に戻り新潟労働局に電話、通達を「聞いていない」とするハローワーク長岡の対応を伝えるとともに、通達したかどうかの確認と通達の徹底を要請、了解を得ました。

「マイナンバー不記載でも受理」の措置は9月30日までの期限付きとなるため、今後の運動が非常に重要です。運動によって、期限を撤廃させましょう。

マイナンバー制度の目的は国民の管理と統制、預金通帳等とひも付けして国民一人ひとりの資産を把握し、徴税を強化することです。マイナンバーカードの取得率は1割ほどであり、大多数の国民の理解を得られていません。これからも反対の大きな声を上げましょう。

